

# 企画県土警察常任委員会資料

(平成22年8月20日)

## 【その他報告事項】

- 1 世界ジオパークネットワーク委員による現地審査について  
【観光政策課】 . . . 1ページ
- 2 「トットリノススメ展」の実施について  
【観光政策課】 . . . 2ページ

文化観光局

## 世界ジオパークネットワーク委員による現地審査について

平成22年8月20日

観光政策課

### 1 審査委員

- ・パトリック・マッキーバー氏 (イギリス) <北アイルランド地質調査所職員・地質学者>
- ・ニコラス・ゾロス氏 (ギリシャ) <エーゲ大学准教授・博物館長・地質学者>

### 2 審査行程

8月1日	鳥取砂丘 (鳥取市)
8月2日	鳥取砂丘らっきょう畑 (鳥取市)、浦富海岸・山陰海岸学習館・渚交流館 (岩美町)、三尾大島・湯村温泉 (新温泉町)
8月3日	新温泉町山陰海岸ジオパーク館 (新温泉町)、遊覧船かすみ丸乗船・香住鶴酒造 (香美町)、神鍋高原・コウノトリ文化館・玄武洞公園 (豊岡市)
8月4日	間人・立岩・大成古墳 (京丹後市)

\*委員の日程の都合により、当初3日に予定していた城崎温泉は省略し、4日に予定していたコウノトリ文化館と玄武洞公園を3日に前倒しした。

### 3 概要

- ◆審査を終え、両委員から「山陰海岸ジオパークに関して良い印象を持てた」とのコメントがあるなど、山陰海岸ジオパークの魅力を十分に理解いただいた。
- ◆鳥取県内では、2日目、らっきょう畑 (鳥取砂丘) やスルメの一夜干し体験会場 (岩美町) で、当初車中での説明のみの予定が委員の希望により下車して視察となるなど、関心を引く場面もあり。  
\*神鍋高原でも、委員の希望により急遽山頂まで上がって火口を見学。
- ◆地元ガイドの方の説明が好印象を持たれたとともに、山陰海岸学習館や渚交流館の展示内容や体験学習などの取組が好評価。
- ◆山陰海岸ジオパークの更なる一体化と宿泊施設とも連携した (旅行) 商品の造成への取組みが大切などの助言あり。

### 4 記者会見での主なコメント

#### <冒頭>

- ・この4日間で山陰海岸ジオパークの魅力を確認することができた。とても良い印象を持って、今回のミッションを終了することができた。
- ・地質・自然・地元の文化の関係をみるることができた。この3つの関係がジオパークの重要な点である。
- ・地質価値を持っている地域でも、地質だけではジオパークになることはできない。地形・地質・自然・文化・農業・地元の人々の生活等、さまざまな要点を繋げていくことでジオパークになる。今回、その関係を確認することができた。

#### <主な質疑>

『最も印象に残った場所とか出来事は何か』

- ・1つに絞るのは非常に難しいが、印象に残ったのは、コウノトリ文化館と活動、海岸地形、玄武洞の地質と世界的価値、鳥取砂丘、最後に、温泉と温泉施設。
- ・一番良かったのは、山陰海岸ジオパークの皆さんは、ジオパークとは何なのかを十分に理解していること。

『何かアドバイスがあるか』

- ・どのジオパークも完璧ではない。ジオパークになると、4年に1回確認審査がある。
- ・山陰海岸ジオパークには、非常に優れた観光施設、教育施設があり、とても良い宿泊施設もある。その宿泊施設とジオパークとの関係を密にし、(旅行) 商品を作れば良い。
- ・もっと山陰海岸ジオパークとして各ジオサイトが一体化した方が良い。各ジオサイトの関係をこれからもっと深くし、一体化したアイデンティティを持って推進していくことが重要。

## 「トットリノススメ展」の実施について

平成22年8月20日

観 光 政 策 課

本県の民芸品を観光情報と一体化し、県外にて広く紹介することで、県外からの観光誘客を図り、併せて、民芸品の販路拡大を図ることなどを目的として、東京都で「トットリノススメ展」として、展示会及び講演会を下記のとおり行います。

### 記

1 期 日 8月26日(木)～31日(火)

2 場 所 リビングデザインセンターOZONE  
(東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー)

### 3 内 容

#### (1) 展示会

【名 称】トットリノススメ展～民芸に根ざした手仕事とプロダクト～

#### 【展示内容】

- ・陶磁器(延興寺窯、山根窯、因州中井窯の食器)
- ・因州和紙(ぼち袋、便箋)
- ・緋(弓浜緋、倉吉緋のテーブルセンター、小物)
- ・木製家具(智頭杉を使ったイス・テーブル)
- ・和紙照明スタンド
- ・パネル展示(吉田璋也氏の功績、鳥取県のおすすめ観光)

#### (2) 講演会(8月29日(日))

【表 題】とっとりの手仕事のある暮らし

【講 師】安西水丸氏(イラストレーター・作家)

※大の鳥取ファン・安西水丸氏によるトークショー

### 4 出展業者

延興寺窯、山根窯、因州中井窯、工房ゆみはま、中原商店、(株)サカモト、日本ラ  
ンドメタル(株)

トットリプロダクツ協議会(ウッドファクトリー(株)、(有)西山家具、(株)新木  
コーポレーション、大因州製紙協議組合、谷口和紙(株))

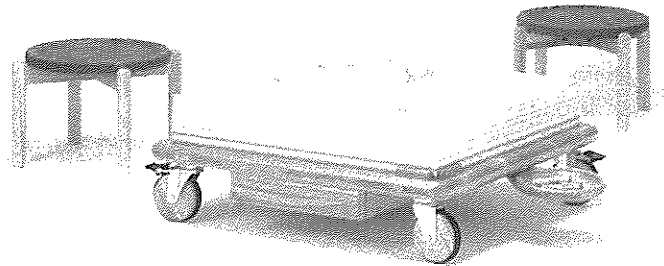
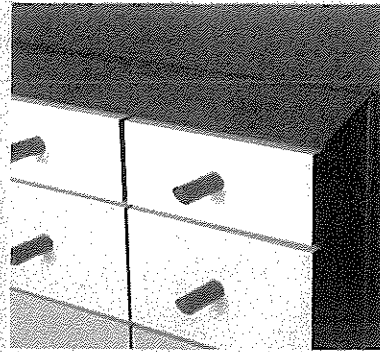
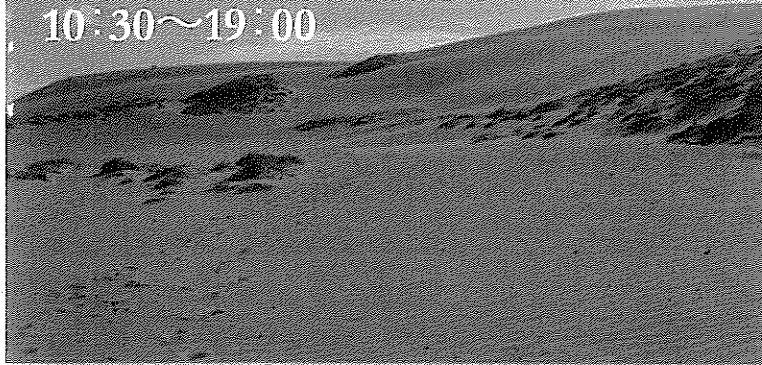
### 5 主 催

鳥取県

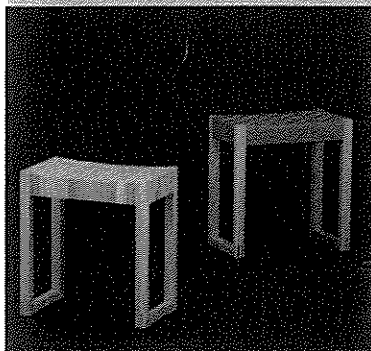
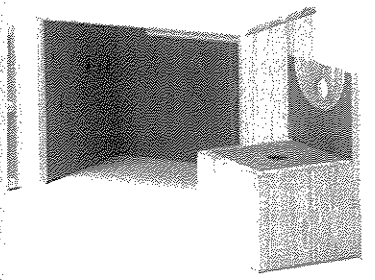
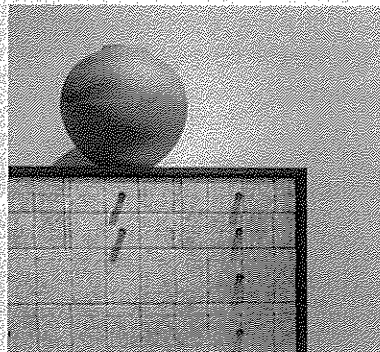
民芸に根差した手仕事とプロダクト

# トットリノススメ展

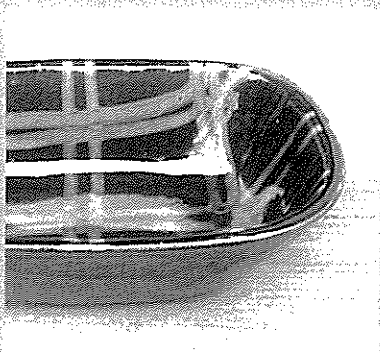
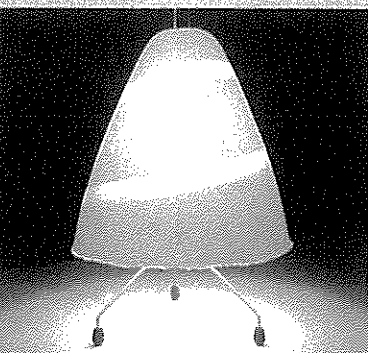
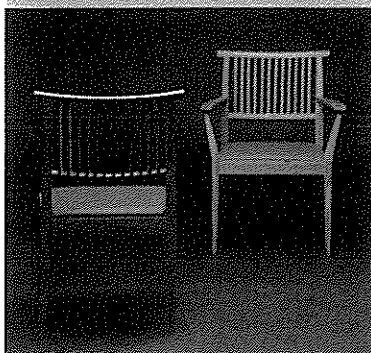
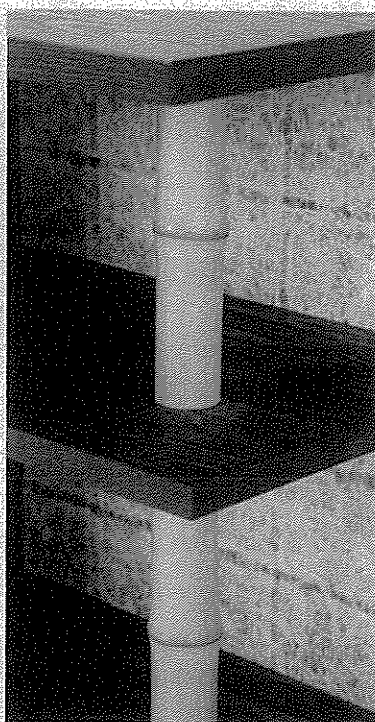
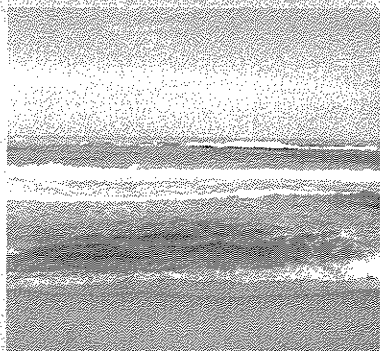
8/26(木)~8/31(火)  
10:30~19:00



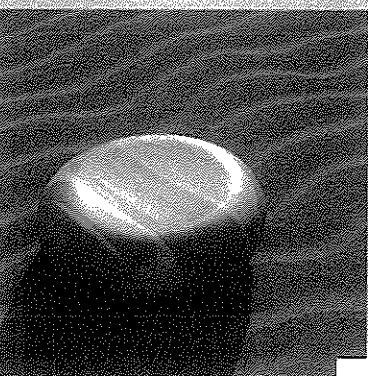
本展では、民芸の精神が色濃く残る鳥取から、今の手仕事：陶磁器、和紙、拵製品などと、地元の素材：和紙や杉などを活かした新しいデザインの照明や家具を紹介します。  
民芸を背景に手仕事とプロダクトが融合し、新たな魅力を発信する鳥取県のものづくりをご覧ください。



会場：リビングデザインセンターOZONE  
(5F特設会場)  
〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1  
新宿パークタワー  
主催：鳥取県文化観光局観光政策課  
協力：リビングデザインセンターOZONE  
入場料：無料  
問い合わせ先：03-5322-6500  
(10:30~19:00 水曜日休館)



連動セミナー  
「とっとりの手仕事のある暮らし」  
日時 8月29日(日曜日) 15:00~16:30  
講師 安西水丸(イラストレーター 作家)



# とっとりの手仕事のある暮らし

2010/08/29 (日曜日) 15:00~16:30

民芸の精神が残る鳥取の今の手仕事・デザインを紹介するイベント「とっとりノススメ展～民芸に根ざした手仕事とプロダクト～」に連動し、大の鳥取ファンである安西水丸さんによるトークショーを開催します。その魅力や普段の暮らしに取り入れるコツなど、おしゃれでたのしい「とっとり」新発見です。

会場：リビングデザインセンターOZONE 8階セミナールーム

主催：鳥取県文化観光局観光政策課

参加費：無料

定員：80名

応募方法：

郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業、電話番号、FAX番号を明記の上、メールまたはFAXにて下記宛て申し込みください。

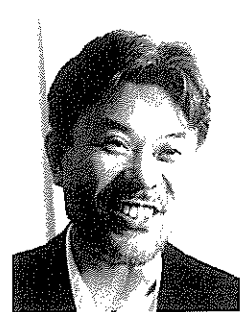
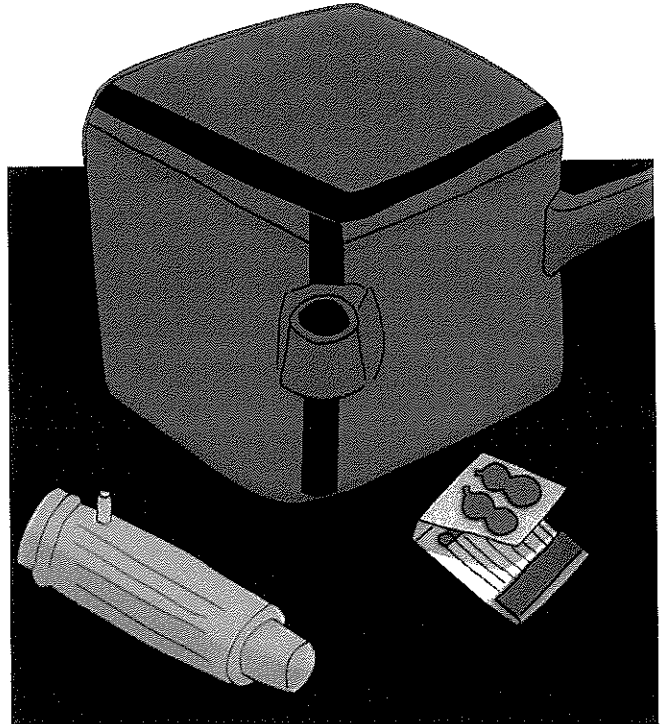
鳥取県文化観光局観光政策課 担当 大江

FAX:0857-26-8308

Eメール:ooeh@pref.tottori.jp

※お申し込み後、郵送またはメールにて受講票のご案内をお送りいたします。

※先着順にて、定員になり次第締め切らせていただきます。



講師  
安西水丸(イラストレーター・作家)

1942年東京生まれ。  
日本大学芸術学部芸術学科造型卒業。  
電通、ニューヨークのデザインスタジオ、  
平凡社に勤めた後、フリーのイラストレーターに。  
「ピッキーとポッキー」、「がたんごとんがたんごとん」(福音  
館書店刊)などの作品がある。鳥取の陶磁器や家具を日常  
愛用しており、鳥取県の観光・歴史にも造詣が深く、鳥取  
県を紹介したイラストレーション、エッセイは多数。

鳥取県は好きだ。  
遠いけど何度か出かけている。  
鳥取城址の石垣、  
焼きもの、郷土玩具、温泉、  
みんな好きだ。  
民芸家具の椅子は  
もう40年くらい愛用している。  
安西水丸

連動展示  
とっとりノススメ展  
～民芸に根ざした手仕事とプロダクト～  
開催日：2010年8月26日(木)～8月31日(火)

## リビングデザインセンターOZONE

〒163-1062 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー

TEL 03-5322-6500(代表) 開館時間 10:30~19:00

<http://www.ozone.co.jp/>

[交通アクセス]

JR新宿駅南口から徒歩約12分/京王線初台駅・小田急線参宮橋駅・大江戸線都庁前駅からそれぞれ徒歩約8分  
新宿駅西口エルタワー前より無料バス運行/JR新宿駅西口21番乗場から100円京王バスにて「パークハイアット東京前」下車

